躯体数量積算

目次

躯体数量積算	84
集計表の作成	86
鉄筋定尺表の作成	88
各躯体数量精算の確認表	89

躯体数量積算

躯体の鉄筋、コンクリートの数量算出。

各部材ごとにコンクリート、型枠、鉄筋の数量を算出します。

1. 躯体数量積算選択



作業選択画面より**躯体数量積算**を選択します。

2.積算範囲指定



積算させる部材を選択します。 計算範囲を指定します。

- 1)[全て]を選択すると、配置済みの部材全て、階範囲も全て計算を行ないます。
- 2)各部材の積算する開始階、終了階を選択します。
 - []をクリックすると階を選択できます。
- [開始]を選択すると計算を始めます。

一度、計算すると[未計算]から

[計算済]に表示が変わります。

特記仕様や部材リストを変更した場合、表示は[計算済]になっていても再度計算を行って下さい。

集計表の作成

集計表の作成を行います。

1.集計表の作成選択

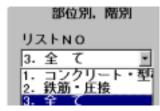


躯体数量積算より**集計表の作成**を選択します。

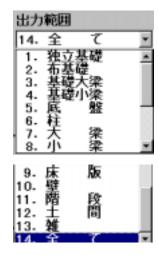
2.部位別、階別



[部位別、階別]を選択します。 []をクリッックして、リストNOを 選択します。



鉄筋補正を[%]で入力します。



[]をクリッックして、出力範囲を選択します。 [開始]をクリックします。

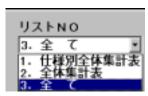
集計表の作業を終わらせるには、[終了]をクリックします。

3.全体



[全体]を選択します。

. []をクリッックして、リストNOを 選択します。



鉄筋補正を[%]で入力します。 [開始]をクリックします。 作業を終わらせるには、[終了]をクリックします。

鉄筋定尺表の作成

鉄筋の定尺表を作成します

1. 鉄筋定尺表の作成選択



躯体数量積算より**鉄筋定尺表の作成**を選択 します。

2.鉄筋定尺リスト



部材リストで設定した鉄筋の仕様、定尺の最低長、 最大長、間隔長をmで入力、確認します。 [保存]をクリックします。

作業を終わらせるには、 [終了]をクリックします。

2. 定尺表の作成



定尺を計算させる部材を選択します。

[開始]をクリックします。

定尺表が必要な部材を、各部材ごとに計算させま す。

計算が終了したものは[計算済]になります。 作業を終わらせるには、[終了]をクリックしま す。

各躯体数量積算の確認表

躯体各部分の積算の確認を行います。

1. 各躯体数量積算の確認表選択



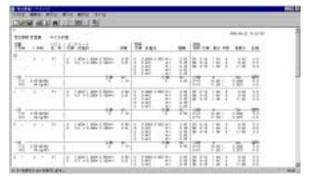
躯体数量積算より**各躯体数量積算の確認表** を選択します。

2. 各躯体数量積算の確認表選択



確認、出力したい部材、出力項目を選択し ます。

Windows のアクセサリのワードパットが起 動します。

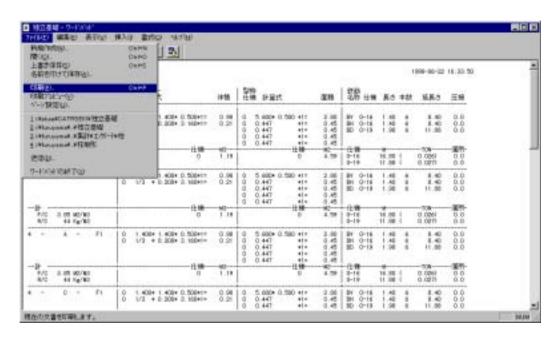


用紙に印刷する場合はワードパットの [ファイル] - [印刷]で出力して下さい。

確認表の処理を終了するには [終了]をクリックします。

ワードパットの詳しい操作方法は Windows のマニュアルをご参照下さい。

3. 印刷方法(ワードパット)







[ファイル] - [印刷]を選択します。 [プリンタの設定]をします。

各プリンタのプロパティをクリックして 用紙の大きさ、用紙の方向(縦置き、横 置き)等を設定して、[OK]を押しま す。